



ご存知ですか？ 糖尿病療養指導士

糖尿病療養指導士とは、糖尿病とその治療支援全般に関する高度な専門知識を持って、糖尿病のある人の生活を理解し、適切な自己管理や治療と一緒に考え支援する医療スタッフです。看護師・管理栄養士・薬剤師・臨床検査技師・理学療法士が取得できる資格で、取得後5年毎の更新が必要です。資格には2つの認定制度があり、「Japan」のJが付いた日本糖尿病療養指導士(CDEJ)と「Local」のLが付いた地域糖尿病療養指導士(CDEL)があります。これらを合わせ当院は看護師8名、薬剤師1名、管理栄養

士1名が在籍しています。

三重病院では小児から高齢者まで幅広い年齢層の糖尿病のある人を対象に、治療や日常生活などの様々なお話をお聞きし、治療や血糖管理の自己管理ができるように些細なことでも一緒に考え、身体のケアだけでなく、心も支える役割があります。私は普段は外来勤務をしていますが、困ったときに相談できるように医師や多職種と協力しながら体制を整えていますので、いつでもお声掛けください。また世界糖尿病デーや、糖尿病ウォークラリーなど糖尿病に関する各種イベントの紹介や参加もしております。患者さまからのお声をイベント内容に繋げる役割もありますのでご要望がありましたらぜひ教えてください。次回は難病看護師の活動についてのお話です。お楽しみに

(糖尿病療養指導士 数岡 美穂子)



患者様と毎月の面談



多職種でのカンファレンス

今月の みえツうちゃん

みなさまも、どしどし応募してくださいね。



《DK さん》



《あいこちゃん さん》



《総長^^ さん》

ふれあい祭りで展示した入院患者さんのぬりえ80点の中から、実行委員厳選(!)の作品をご紹介します。
どれも素敵な作品ばかりで、選ぶのがとっても大変でした。
(ふれあい祭り実行委員一同)

